

この世が救済されるために、何が必要ならなければならないのか。
「ニーベルングの指環」は、〈権力〉と〈愛〉についてワーグナーが
投げかける答えなき問いである。—— 飯守泰次郎

飯守泰次郎 × 関西フィル

ワーグナー作曲 Richard Wagner “Der Ring des Nibelungen”

楽劇「ニーベルングの指環」

ハイライト (演奏会形式)

ドイツ語上演・日本語字幕付き

指揮：飯守 泰次郎 *Taijiro IIMORI*

ペトラ・ラング *Petra LANG* (Sop)

ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー
Michael KUPFER-RADECKY (Bar)

ミカエル・ヴェイニウス *Michael WEINIUS* (Ten)

石橋 栄実 *Emi ISHIBASHI* (Sop)

白石 優子 *Yuko SHIRAIISHI* (Sop)

福原 寿美枝 *Sumie FUKUHARA* (Mezzo Sop)

管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
Kansai Philharmonic Orchestra

序夜 「ラインの黄金」

“前奏-ラインの乙女たちと黄金強奪”

第一夜 「ワルキューレ」

第1幕より シークムントとジークリンデの二重唱
第3幕より “ワルキューレの騎行”
第3幕より “ヴォータンの別れと魔の炎の音楽”

第二夜 「ジークフリート」

第2幕より “森のささやき”
第3幕より ジークフリートとブリュンヒルデの二重唱

第三夜 「神々の黄昏」

序幕より “夜明けとジークフリートのラインの旅”
第3幕より “ジークフリートの葬送行進曲”
第3幕より “ブリュンヒルデの自己犠牲”

2019/12/1(日)10:00 チケット一般発売!

チケット料金 (全席指定・消費税込)

S席 9,500円/A席 8,500円/B席 7,500円/C席 6,500円

BOX席 14,000円/バルコニーBOX席(2席セット)19,000円/学生席 1,000円

<お問い合わせ>

フェスティバルホール チケットセンター

06-6231-2221(10:00~18:00)

2020年

5月30日(土)

14:00 開演 (13:00 開場)

上演時間：約3時間(休憩を含む)

フェスティバルホール

主催：朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪国際フェスティバル協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、フェスティバルホール

協賛：朝日放送グループホールディングス、関電工、サントリーホールディングス、ダイキン工業、高砂熱学工業、竹中工務店、西原衛生工業所

協力：大阪芸術大学、日本ワーグナー協会

ワーグナーを知り尽くしたマエストロ、「指環」3時間勝負に挑む!

飯守泰次郎、ワーグナーを語る

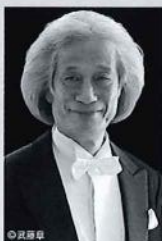
「ニーベルングの指環」はひとつの世界が生まれて終わるまでを含む、けた外れに巨大な作品です。私が最初にワーグナーの魔力に圧倒されたのは20代半ばの1966年、パイロイト音楽祭のマスタークラスに初めて参加したとき。朝から晩までワーグナー漬けになり、高熱を出して寝込んで、魅力と同時に毒があることを思い知らされました。

音楽のみが持つ、人の心を動かす効果を駆使し、いつの時代にも通じる有機性と普遍性を含んだ内容を表現する、魔力ともいえる驚くべき力。これこそ、ワーグナーの魅力なのです。

ドイツの名指揮者ホルスト・シュタインの伝統的な「指環」、パイロイト百年祭のピエール・ブーレーズによる革命的な「指環」。私はパイロイトで両方の「指環」の音楽助手を務め、気づけば50年近く「指環」と関わっていますが、ワーグナーがどれほど深くこの世界と人間を掘り下げて理解していたか、ますます圧倒されるばかりです。

飯守 泰次郎 (指揮) Taijiro HIMORI

桐朋学園で学んだ後ヨーロッパで研鑽を積み、1970年からパイロイト音楽祭の音楽助手。マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任。国内では東京シティ・フィル常任指揮者としてワーグナー「ニーベルングの指環」全4作を上演し、2003年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。関西フィル常任指揮者としては2001年～2010年、ベートーヴェン交響曲・協奏曲全曲ツィクルスのほか、「魔笛」「フィダリオ」「青ひげ公の城」「ワルキューレ」などを演奏会形式で上演。2011年から同団桂冠名誉指揮者。2014年9月から4年間、新国立劇場オペラ芸術監督。同劇場で「バルジファル」「ニーベルングの指環」「フィダリオ」を指揮。2012年度文化功労者および日本芸術院賞。日本芸術院会員。



© 飯守 泰

関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年創立。オーギュスタン・デュメイ音楽監督のほか、首席指揮者藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の3指揮者を擁している。2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜夜23時30分)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡るヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。2020年に楽団創立50周年を迎える。

楽劇「ニーベルングの指環」とは

ドイツの作曲家リヒャルト・ワーグナー(1813～83)が25年以上かけて完成させた、4部から成る楽劇。パイロイト祝祭劇場は「指環」上演のために建設され、1876年に初演された。全編上演には4夜、約15時間を要するオペラ史上最大級の作品。台本は、中世ドイツの叙事詩「ニーベルングの歌」や北欧神話をもとにワーグナー自身が手がけた。権力の象徴である黄金の指環をめぐる、神々と人間が3世代にわたって争いと愛憎を繰り返す、最後に世界が崩壊するまでを描く。

<序夜 ラインの黄金>地底界の小人アルベリヒがラインの乙女から奪った黄金で指環を作る。指環の持ち主は絶対的な権力を得るが、破壊の呪いをも負うことになる。神々の長ヴォータンが指環を奪うが、指環はさらに巨人族ファーフナーの手に落ちる。

<第1夜 ワルキューレ>生き別れた双子の兄妹ジークムントとジークリンデが再会し、愛を交わし合う。ヴォータンの娘で戦乙女(ワルキューレ)のブリュンヒルデは、父の言いつけに背いてジークムントを助けようとし、その罰として炎に囲まれた岩山で眠りにつく。

<第2夜 ジークフリート>ジークムントとジークリンデの息子ジークフリートは、聖剣ノットングを手し、大蛇となったファーフナーに挑んで指環を手に入れる。森の小鳥に導かれ、岩山で眠るブリュンヒルデを目覚めさせて愛を誓う。

<第3夜 神々の黄昏>ジークフリートは策にはめられてブリュンヒルデを裏切ってしまうが、死の間際に記憶を取り戻し、彼女への愛を宣言する。ブリュンヒルデは彼の亡骸に火を放ち、神々の城ヴァルハラも炎に包まれる。混乱の中、指環はラインの娘たちの手に戻る。

ペトラ・ラング (Sop/ジークリンデ、ブリュンヒルデ) Petra LANG

今日、最も有名なワーグナー歌手の一人。フランクフルト生まれ。リリック・メソとしてキャリアをスタートさせ、ブランゲンネ、ジークリンデ、ヴェーヌス、クンドリ、フリッカといったワーグナー作品の役柄をはじめ、「青ひげ公の城」のユディット、「トロイアの人々」のカサンドラ、「ナクソス島のアリアドネ」のアリアドネなどを歌って注目を集めた。これまでにイゾルデ役をパイロイト、ミュンヘン、ウィーンで、ブリュンヒルデ役をドレステン(C. ティーレマン指揮リング・チクルス)、ウィーン、ベルリン、ルツェルン、ミュンヘン、パリ、シュトゥットガルト、東京などで歌う。欧米の主要歌劇場で活躍し、ザルツブルク、プレゲンツ、エディンバラ、パイロイトの各音楽祭にも出演。



© Ann Weisz



石橋 栄実 (Sop/ヴォークリンデ) Emi ISHIBASHI

ミハエル・クプファー＝ラデツキー (Bar/ヴォータン、アルベリヒ) Michael KUPFER-RADECKY

ドイツ出身。2000年から定期的にチロル音楽祭に招かれ、「ニーベルングの指環」ヴォータン、ゲンター役で出演。2016年、「ワルキューレ」ヴォータンでハンガリー国立歌劇場にデビュー。「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」ハンス・ザックスをバリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座で歌い、ベルリン・ドイツ・オペラでの「サロメ」ヨカナーン役でも大きな成功を収めた。2018年には新国立劇場でのカターリナ・ワーグナーの新演出「フィダリオ」に、ドン・ビツァロ役で登場した。



白石 優子 (Sop/ヴェルクンデ) Yuko SHIRAIISHI

ミカエル・ヴェイニウス (Ten/ジークムント、ジークフリート) Michael WEINIUS

スウェーデン・ストックホルム生まれ。パリからテノールへ転向し、才能を開花させる。ワーグナー作品ではジークムント、バルジファル、トリスタンなどをレパートリーとし、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、マンハイム国立劇場などに登場。2017-18シーズン以降はデュッセルドルフとジュネーヴでの「ジークフリート」「神々の黄昏」にジークフリート役で出演している。



福原 寿美枝 (Mezzo Sop/フロスヒルデ) Sumie FUKUHARA

S席 9,500円/A席 8,500円/B席 7,500円/C席 6,500円
BOX席 14,000円/バルコニーBOX席(2席セット) 19,000円/学生席 1,000円

※バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンター 電話予約・窓口販売(12/2～)のみ ※学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみの販売(限定40席/25歳以下/学生本人の名前でご予約ください/当日指定席と引き換え/引き換え時、学生証をご提示ください)

チケット一般発売日: 2019年12月1日(日) 10:00

フェスティバルホール・クラブ会員先行受付開始: 2019年11月16日(土) 10:00 フェスティバルホール・オンライン会員先行受付開始: 2019年11月23日(土・祝) 10:00

ご予約・お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00～18:00) ※窓口での取扱は12月2日(月)から(残席がある場合のみ)
フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

関西フィル友の会・サポーターズ会員先行受付開始: 2019年11月25日(月) 10:00 ※一般発売・WEBチケット発売(会員含む)は12月2日(月)より。

関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381(平日10:00～17:00 土曜日10:00～16:00 日祝休み) 関西フィルWEBチケット <https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s/>

プレイガイド

e+(イープラス) <https://eplus.jp/> チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:167-044] <https://t.pia.jp/>
ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター予約 10:00-20:00) 0570-084-005(24時間Lコード予約 Lコード:52113) <https://l-tike.com/>
CNプレイガイド 0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/> セブンチケット <http://7ticket.jp/sc/21nh>

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。予めご了承ください。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

朝カル「指環(リング)・ハイライト」満喫講座

※12月2日(月)受付開始

作品と聞きどころなどについてのお話を聞いた後、ホールで行うリハーサルの一部を見学します。熱気あふれる歌手・指揮者・オーケストラを間近に感じ、公演をより深くお楽しみいただけます。

2020年5月28日(木) 13:00-15:30(予定) [参加料] 3,300円(消費税込み) [定員] 50名

13:00-13:45/講座「飯守「リング」の魅力とは」 14:00-15:30/リハーサル見学

[会場] フェスティバルホール [講師] 藤野一夫(神戸大学教授・音楽評論家)

●先に公演チケットをフェスティバルホールまたは各プレイガイドでお求めください。申し込みの際に席番をお聞かせください。満席講座の申し込みは受け付けません。●見学席は当日、ご案内します。●申し込み先着順。定員になり次第締め切ります。

[ご予約] 朝日カルチャーセンター中之島 Tel: 06-6222-5224 (月～土 9:30-18:30、日祝除く)受付は電話のみ <http://www.asahiculture.jp/> 主催:朝日カルチャーセンター、朝日新聞文化財団、朝日新聞社

関西フィルは、2020年に創立50周年を迎えます。 —豪華な周年記念イベントにご期待ください!—

◆2020年6月17日(水)

“三大テノールの宴”(ザ・シンフォニーホール/2月発売予定)
Ten: 福井 敬/村上 敬明/笛田 博昭 指揮: 藤岡 幸夫

◆2020年10月29日(木)

飯守泰次郎の“ブルックナー・ツィクルス”最終回～0番+00番 (ザ・シンフォニーホール/6月発売予定)

[問] 関西フィルハーモニー管弦楽団 Tel: 06-6577-1381



藤岡 幸夫 Kenji Fukuyama 飯守泰次郎 Taijiro Himori